

## News Release



(別添)

2024年10月31日  
N I T E ( ナイト )  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
中 部 支 所

## 暖房器具の事故 ～火災を未然に防ぎましょう～ ( 東海4県版 )

NITE ( ナイト ) に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>において、主な暖房器具<sup>※2</sup>である電気ストーブ・ファンヒーター ( 以下、電気暖房器具 ) と石油ストーブ・ファンヒーター ( 以下、石油暖房器具 ) の事故は2019年から2023年の5年間に東海地方4県 ( 静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県 ) で合計75件 ( 電気暖房器具 : 41件、石油暖房器具 : 34件 ) あり、そのうち火災は69件 ( 92% ) ( 電気暖房器具 : 36件、石油暖房器具 : 33件 ) に至っており大きな割合を占めています。また、被害状況は死亡10件 ( 14% )、重傷1件 ( 1% )、軽傷7件 ( 9% )、拡大被害38件 ( 51% )、製品破損19件 ( 25% ) に至っています。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報 ( 被害なし ) を含みます。

(※2) 石油ストーブ・石油ファンヒーター、電気ストーブ・電気ファンヒーター、ガスストーブ・ガスファンヒーター、オイルヒーター

### 1. 暖房器具による製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 「県別」及び「年度別」の事故発生件数 ( 単位 : 件 ) <sup>※3</sup>

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
2019年	6 (4)	4 (4)	2 (1)	5 (5)	17 (14)
2020年	3 (3)	11 (11)	4 (4)	0	18 (18)
2021年	3 (3)	7 (6)	2 (2)	2 (1)	14 (12)
2022年	1 (1)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	8 (8)
2023年	4 (4)	8 (8)	5 (5)	1	18 (17)
合計	17 (15)	34 (33)	15 (14)	9 (7)	75 (69)

(※3) ( )内は火災件数。

## (2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数を表 2 に示します。

表 2 「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数 (単位: 件) ※4

被害状況※5		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	6 (6)	3 (3)	1 (1)	10 (10)
	重傷	1 (1)	0	0	0	1 (1)
	軽傷	1 (1)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	7 (7)
物的被害	拡大被害※6	7 (7)	21 (20)	6 (6)	4 (4)	38 (37)
	製品破損	8 (6)	4 (4)	4 (3)	3 (1)	19 (14)
合計		17 (15)	34 (33)	15 (14)	9 (7)	75 (69)

(※4) ( )内は火災件数。

(※5) 物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。また、人的被害(死亡・重傷・軽傷)が複数同時に発生している場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていない。

(※6) 製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## (3) 東海 4 県の県別及び機具別 事故発生件数を表 3 に示します。

表 3 「県別」及び「器具別」の事故発生件数 (単位: 件) ※7

器具別	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
電気暖房器具	13 (11)	13 (12)	9 (8)	6 (5)	41 (36)
石油暖房器具	4 (4)	21 (21)	6 (6)	3 (2)	34 (33)
合計	17 (15)	34 (33)	15 (14)	9 (7)	75 (69)

(※7) ( )内は火災件数。

## 2. 暖房器具の事故事例

### 電気暖房器具（電気ストーブ）：リコール対象製品の事故

2023年1月（岐阜県、70歳代・男性、製品破損）

#### 【事故内容】

電気ストーブを使用中、異臭と異音がしたため確認すると、電気ストーブを焼損する火災が発生していた。

#### 【事故原因】

電気ストーブの強弱切替えスイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと推定される。

#### 【再発防止措置】

輸入事業者は、2007年（平成19年）8月7日、2008年（平成20年）4月21日、2011年（平成23年）2月15日、2012年（平成24年）2月24日及び2013年（平成25年）3月11日に新聞社告を掲載し、かつ、2012年（平成24年）2月24日及び2013年（平成25年）3月11日に輸入事業者のホームページへ情報を掲載しているほか、雑誌及びインターネット広告への掲載等を行い、当該型式を含む対象機種について製品回収及び返金を実施している。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】電気ストーブ、強弱、スイッチ、製品回収

### 電気暖房器具（電気ストーブ）：可燃物の接触

2019年12月（静岡県、50歳代・男性、重傷）

#### 【事故内容】

使用中の電気ストーブ付近から出火して周辺を焼損し、火傷を負った。

#### 【事故原因】

電気ストーブを使用したまま就寝したため、布団が接触して発火したものと推定される。  
なお、取扱説明書には、「就寝中は使用しない。布団等燃えやすいものの近くで使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】電気ストーブ、使用、就寝

### 石油暖房器具（石油ファンヒーター）：ガソリンの誤給油

2019年4月（愛知県、年代・性別不明、拡大被害）

#### 【事故内容】

使用中の石油ファンヒーター付近から出火して、周辺を焼損した。

#### 【事故原因】

石油ファンヒーターからガソリンが検出されたことから、被害者がガソリンを誤給油したため、異常燃焼を起こし、火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】石油ファンヒーター、ガソリン、給油

### 3. 暖房器具による製品事故の実験映像について

暖房器具による製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITE のロゴ」としてください。

**(本件に関するお問い合わせ先)**

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-5-1 名古屋合同庁舎第 2 号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 浅井 幹夫

担当者：横山、横田

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902